

Media Do

2015年2月期 第1四半期

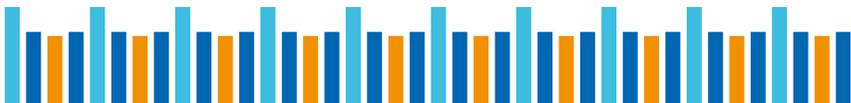
# 決算説明会

2014年7月8日

株式会社メディアドウ

東証マザーズ 3678

<http://mediado.jp/>



- 1 **ビジネスモデル／ミッション**
- 2 **2015年2月期 第1四半期ハイライト**
- 3 **2015年2月期 第1四半期レビュー**
- 4 **電子書籍事業の進捗状況**
- 5 **今後の成長戦略**



**1** ビジネスモデル/ミッション

2 2015年2月期 第1四半期ハイライト

3 2015年2月期 第1四半期レビュー

4 電子書籍事業の進捗状況

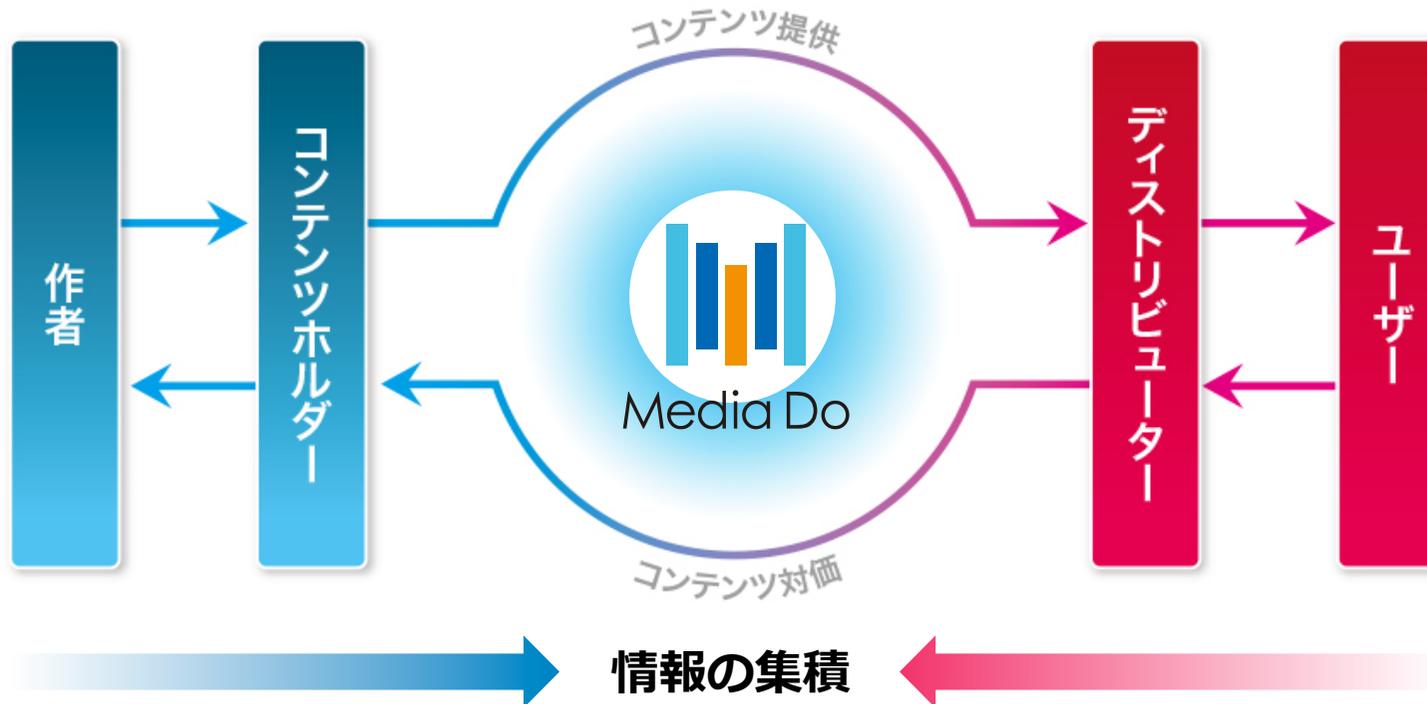
5 今後の成長戦略



# 事業モデル

当社の事業モデルは、システムを活用した「著作物のデジタル流通事業」です。電子書籍を中心として、音楽、映像、ゲーム等の配信事業を推進。

## 著作物のデジタル流通事業



ひとつでも多くのコンテンツを、  
ひとりでも多くの人に届けること。

私たちメディアドゥは、著作物を公正利用のもと、私たちの力で出来る限り広く頒布し著作者に収益を還元するという

## “著作物の健全なる創造サイクルの実現”

を事業理念と掲げ、この日本における文化の発展、及び豊かな社会づくりに貢献したいと考えています。



著作権法 第一章 総則 第一節 通則 第一条 この法律は、著作物並びに実演、レコード、放送及び有線放送に関し著作者の権利及びこれに隣接する権利を定め、これらの文化的所産の公正な利用に留意しつつ、著作者等の権利の保護を図り、もって文化の発展に寄与することを目的とする。



# 会社概要



【 商 号 】	株式会社メディアドゥ ( MEDIA DO Co.,LTD. )
【 設 立 】	1999年4月
【 資 本 金 】	835,878,750円 (2014年5月末日現在)
【 役 員 構 成 】	代表取締役社長 藤田 恭嗣 (フジタ ヤスシ) 取締役 溝口 敦 取締役 山本 治 取締役 (非常勤) 寺山 隆一 (株式会社ニュース・サービス・センター代表取締役社長) 取締役 (非常勤) 林 郁 (株式会社デジタルガレージ 代表取締役グループCEO) 監査役 大和田 和恵 監査役 (非常勤) 平尾 周三 監査役 (非常勤) 森藤 利明 監査役 (非常勤) 堀 泰人
【 顧 問 】	アドバイザー 伊藤穰一 (MITメディアラボ 所長)
【 従 業 員 数 】	120名 (社員 98名、アルバイト等 22名 / 2014年5月末日現在)
【 本 社 】	名古屋市中区錦一丁目4番16号 日銀前K Dビル9 F
【 東 京 支 社 】	東京都渋谷区代々木4丁目30番3号 新宿MIDWESTビル5F (初台)
【 徳 島 木 頭 事 業 所 】	徳島県那賀郡那賀町木頭和無田字イワツシ5-23

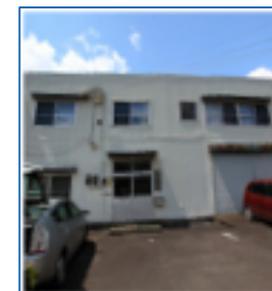
名古屋本社



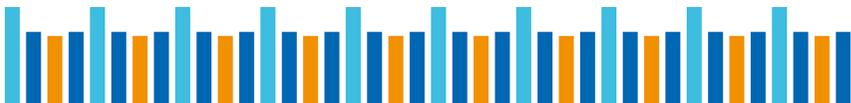
東京支社



徳島事業所



- 1 ビジネスモデル／ミッション
- 2 **2015年2月期 第1四半期ハイライト**
- 3 2015年2月期 第1四半期レビュー
- 4 電子書籍事業の進捗状況
- 5 今後の成長戦略



# 2015年2月期 第1四半期ハイライト

電子書籍事業が牽引し、売上高、営業利益ともに大きく伸長し増収増益を達成。

## 2015年2月期 第1四半期

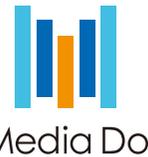
売上高	: 1,735百万円 (前年対比 144.9%)
電子書籍売上	: 1,523百万円 (前年対比 159.8%、売上構成比 87.8%)
営業利益	: 72百万円 (前年対比 162.2%)

## トピックス

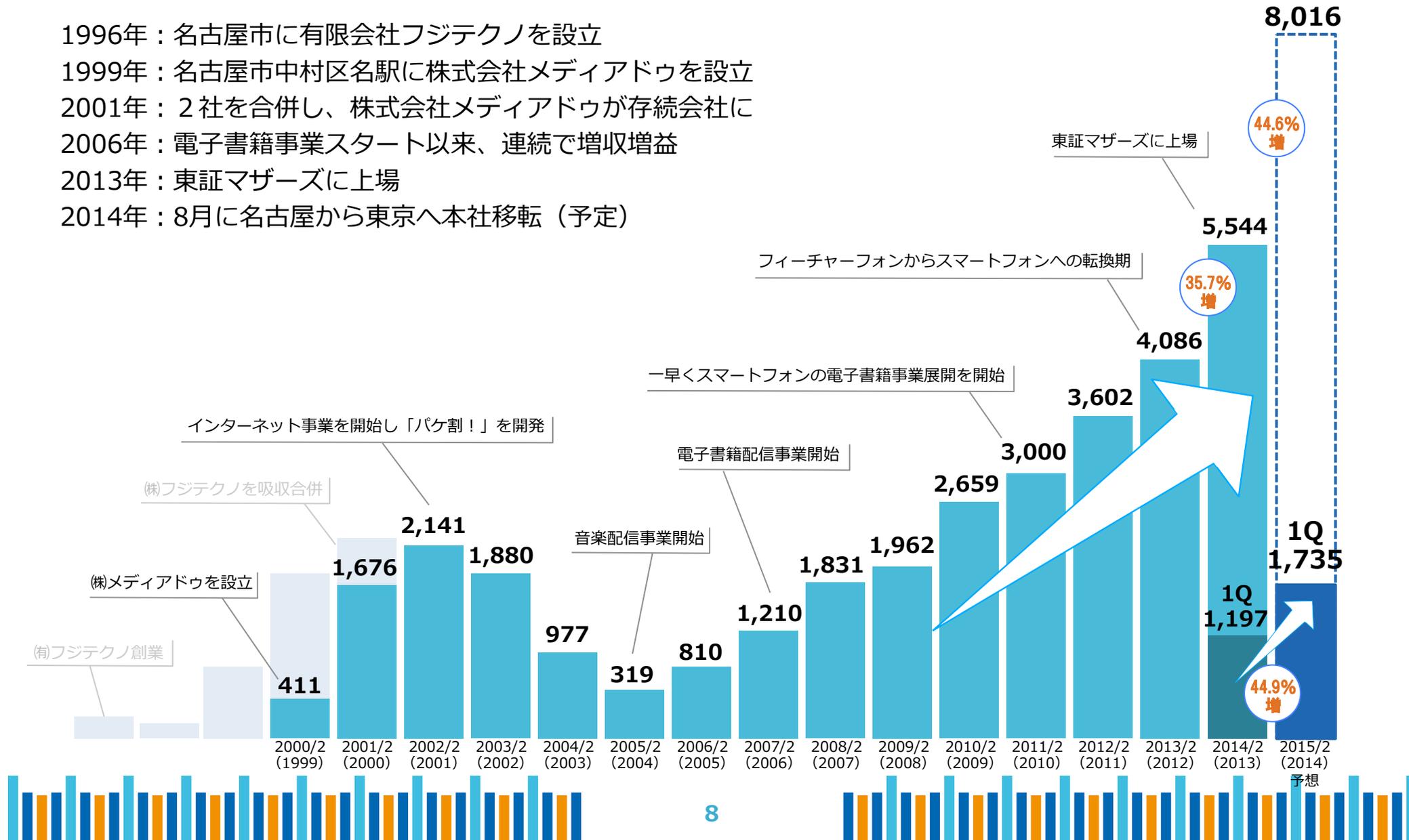
- 2014年 3月 東京支社を神保町から初台へ移転。今年8月には本社を名古屋から東京に移し、初台の東京支社を本社として再始動予定
- 
- 4月 「LINEマンガ」がライトノベル作品の提供を開始  
「スマートブックストア」がリニューアル
- 
- 5月 電子図書館プラットフォーム世界最大手 米国OverDrive, Inc.との戦略的業務提携



# 売上高の推移



- 1996年：名古屋市に有限会社フジテクノを設立
- 1999年：名古屋市中村区名駅に株式会社メディアドゥを設立
- 2001年：2社を合併し、株式会社メディアドゥが存続会社に
- 2006年：電子書籍事業スタート以来、連続で増収増益
- 2013年：東証マザーズに上場
- 2014年：8月に名古屋から東京へ本社移転（予定）



- 1 ビジネスモデル／ミッション
- 2 2015年2月期 第1四半期ハイライト
- 3 2015年2月期 第1四半期レビュー**
- 4 電子書籍事業の進捗状況
- 5 今後の成長戦略



## 2015年2月期 第1四半期実績 (P/L)

(単位：百万円)	2014年2月期 (第1四半期)		2015年2月期 (第1四半期)			2015年2月期(通期)	
	1Q	構成比/売上対比	1Q	構成比/売上対比	前年同期比	通期予想	進捗率
<b>売上高</b>	<b>1,197</b>	100.0%	<b>1,735</b>	100.0%	144.9%	<b>8,016</b>	21.6%
電子書籍事業	<b>953</b>	79.6%	<b>1,523</b>	87.8%	159.8%	—	—
音楽・映像事業	<b>143</b>	12.0%	<b>126</b>	7.3%	87.7%	—	—
ゲーム事業	<b>76</b>	6.4%	<b>43</b>	2.5%	57.7%	—	—
その他	<b>23</b>	2.0%	<b>41</b>	2.4%	173.9%	—	—
<b>営業利益</b>	<b>44</b>	3.7%	<b>72</b>	4.2%	—	<b>403</b>	17.9%
<b>経常利益</b>	<b>43</b>	3.6%	<b>72</b>	4.2%	—	<b>402</b>	18.0%
<b>当期純利益</b> (四半期)	<b>28</b>	2.4%	<b>38</b>	2.2%	—	<b>213</b>	18.2%



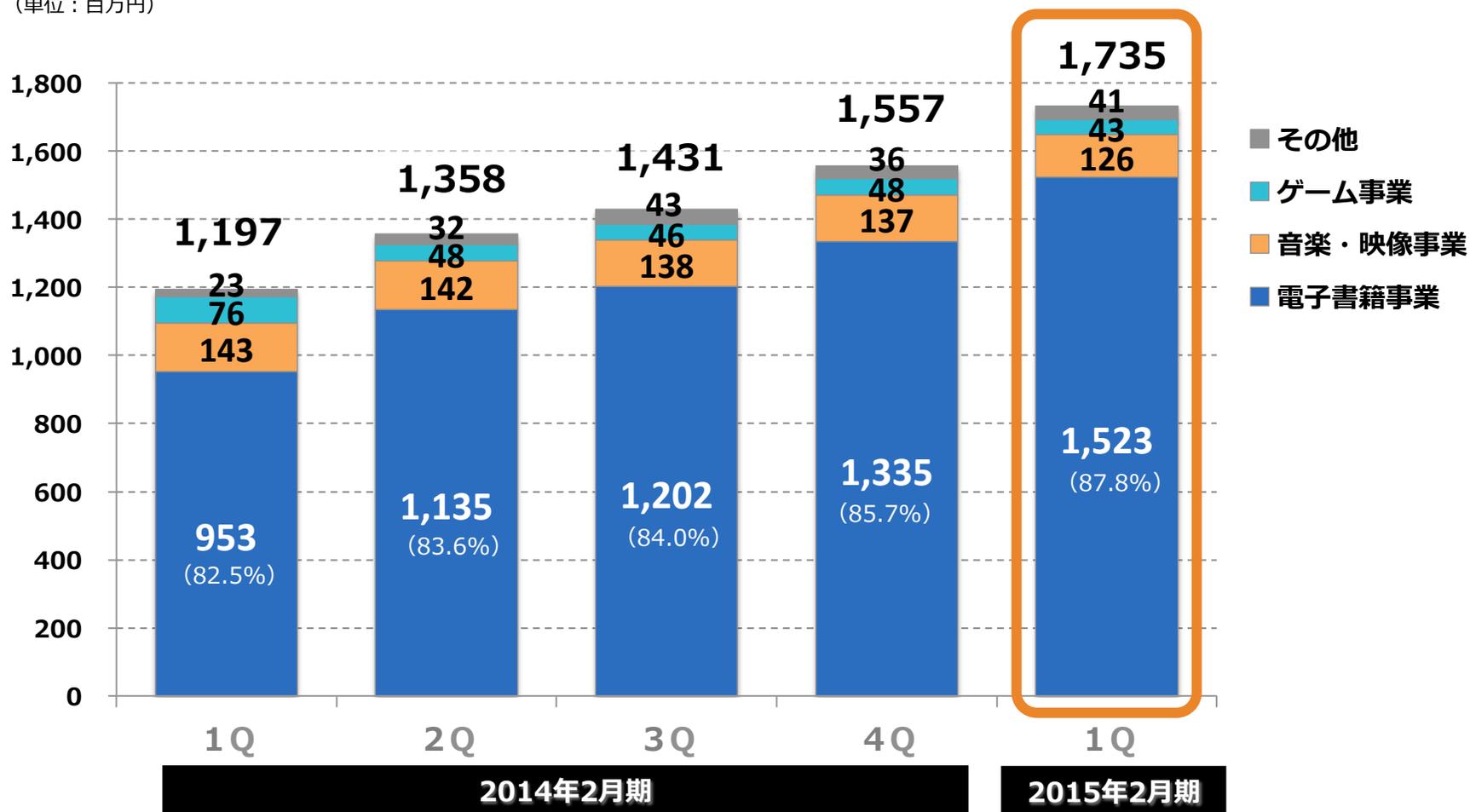
## 2015年2月期 第1四半期実績 (B/S)

(単位：百万円)	2014年2月期 (第1四半期)	2015年2月期 (第1四半期)	前年同期比 (金額ベース)	主たる変動要因、他
<b>流動資産</b>	<b>1,214</b>	<b>2,719</b>	<b>+1,504</b>	
現金及び預金	191	1,394	+1,203	公開時公募増資、事業収益の増加
売掛金	975	1,282	+306	売上増に連動
<b>固定資産</b>	<b>346</b>	<b>378</b>	<b>+32</b>	
ソフトウェア	140	71	△ 68	サーバソフトウェアの償却が進む
<b>資産合計</b>	<b>1,560</b>	<b>3,097</b>	<b>+1,537</b>	
<b>流動負債</b>	<b>1,161</b>	<b>1,494</b>	<b>+332</b>	
買掛金	715	1,220	+505	売上増に連動
短期借入金 (1年内返済予定の長期借入金を含む)	234	38	△ 196	当座貸越解消、返済が進む
<b>固定負債合計</b>	<b>41</b>	<b>8</b>	<b>△ 32</b>	
長期借入金	36	0	△ 36	借入返済が進む
<b>負債合計</b>	<b>1,203</b>	<b>1,502</b>	<b>+299</b>	
<b>純資産の合計</b>	<b>357</b>	<b>1,595</b>	<b>+1,237</b>	公開時公募増資、ストックオプション行使等
<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,560</b>	<b>3,097</b>	<b>+1,537</b>	



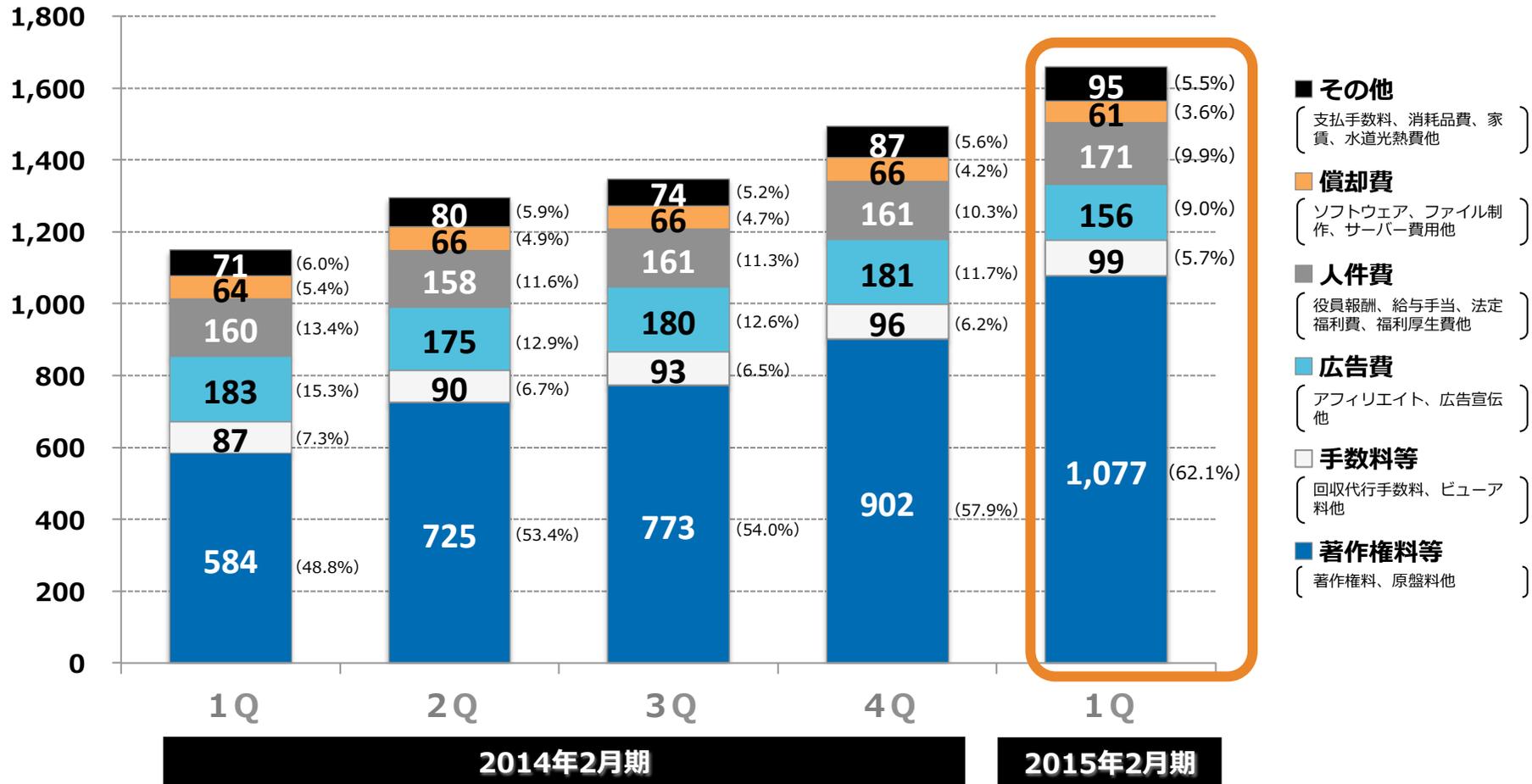
# 事業別 四半期売上推移

(単位：百万円)



# 四半期コスト内訳の推移

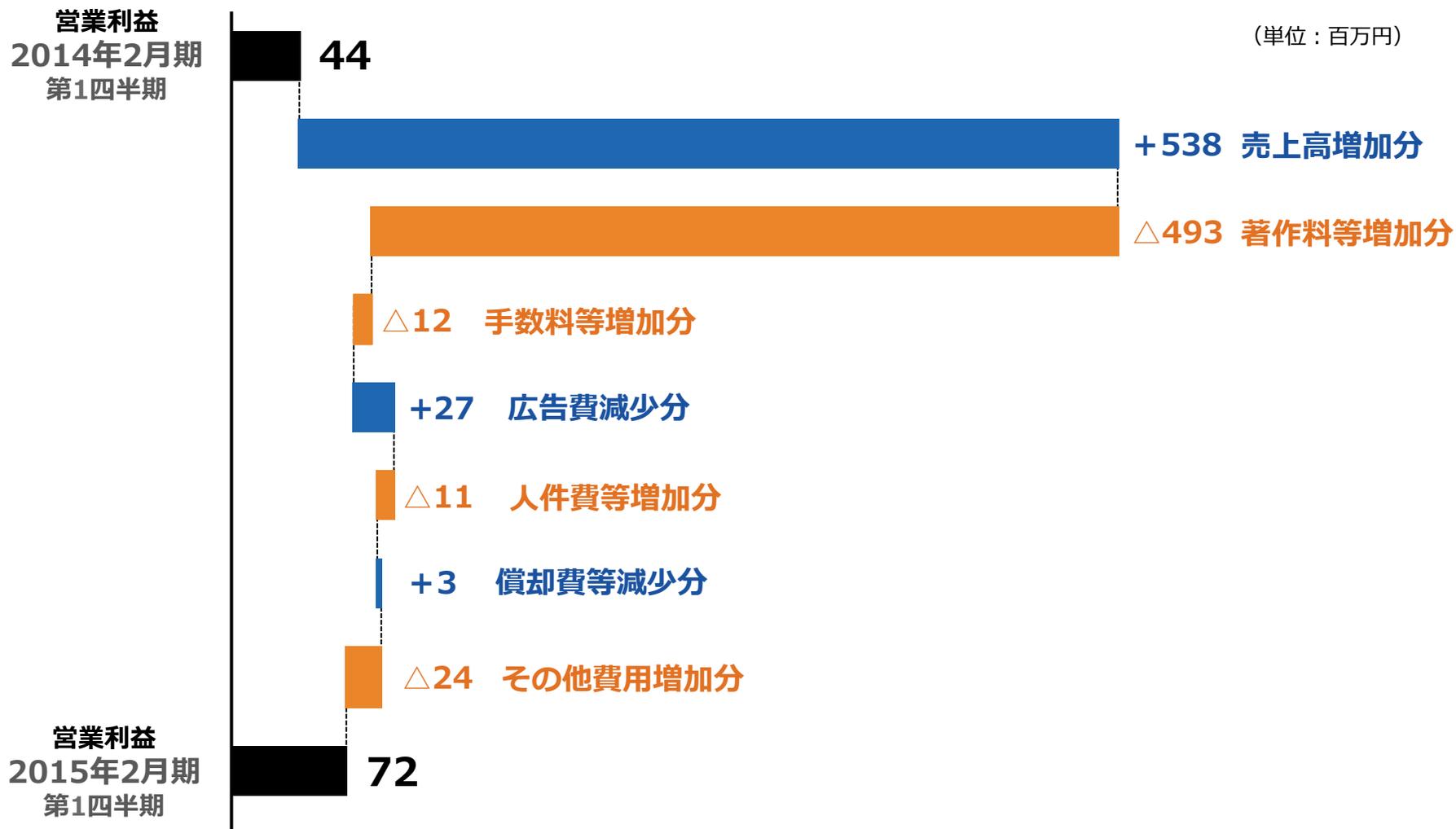
(単位：百万円)



※ ( ) 内の%は売上対比。



# 営業利益の変動要因



# 2015年2月期 第1四半期 詳細

(単位：百万円)	2014年2月期								2015年2月期	
	1Q		2Q		3Q		4Q		1Q	
<b>売上高</b>	<b>1,197</b>		<b>1,358</b>		<b>1,431</b>		<b>1,557</b>		<b>1,735</b>	
電子書籍事業	953	79.6%	1,135	83.6%	1,202	84.0%	1,335	85.7%	1,523	87.8%
音楽・映像事業	143	12.0%	142	10.5%	138	9.7%	137	8.8%	126	7.3%
ゲーム事業	76	6.4%	48	3.5%	46	3.3%	48	3.1%	43	2.5%
その他	23	2.0%	32	2.4%	43	3.1%	36	2.3%	41	2.4%
<b>売上原価、販売管理費</b>	<b>1,152</b>		<b>1,295</b>		<b>1,350</b>		<b>1,494</b>		<b>1,663</b>	
著作料等	584	48.8%	725	53.4%	773	54.0%	902	57.9%	1,077	62.1%
手数料等	87	7.3%	90	6.7%	93	6.5%	96	6.2%	99	5.7%
広告宣伝費	183	15.3%	175	12.9%	180	12.6%	181	11.7%	156	9.0%
人件費等	160	13.4%	158	11.6%	161	11.3%	161	10.3%	171	9.9%
償却費等	64	5.4%	66	4.9%	66	4.7%	66	4.2%	61	3.6%
その他	71	6.0%	80	5.9%	74	5.2%	87	5.6%	95	5.5%
<b>営業利益</b>	<b>44</b>		<b>62</b>		<b>81</b>		<b>63</b>		<b>72</b>	
<b>経常利益</b>	<b>43</b>		<b>61</b>		<b>58</b>		<b>64</b>		<b>72</b>	
<b>当期純利益</b>	<b>28</b>		<b>43</b>		<b>30</b>		<b>74</b>		<b>38</b>	

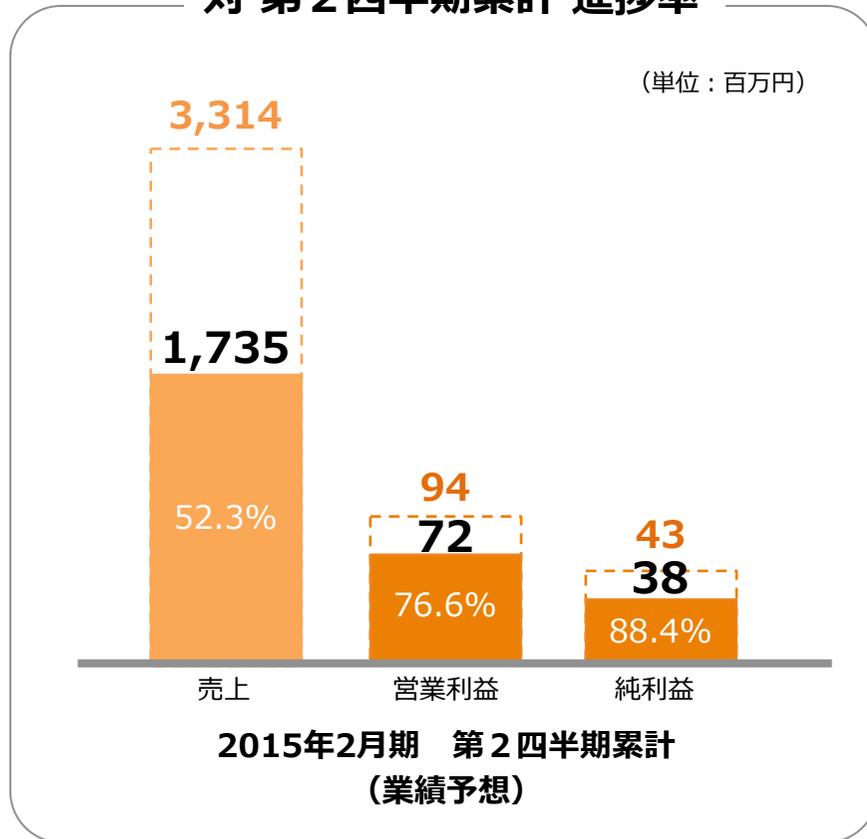
※ %は売上対比。



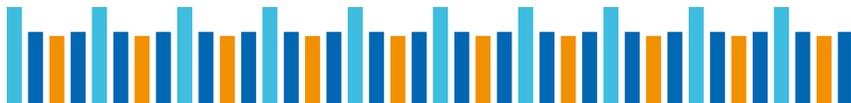
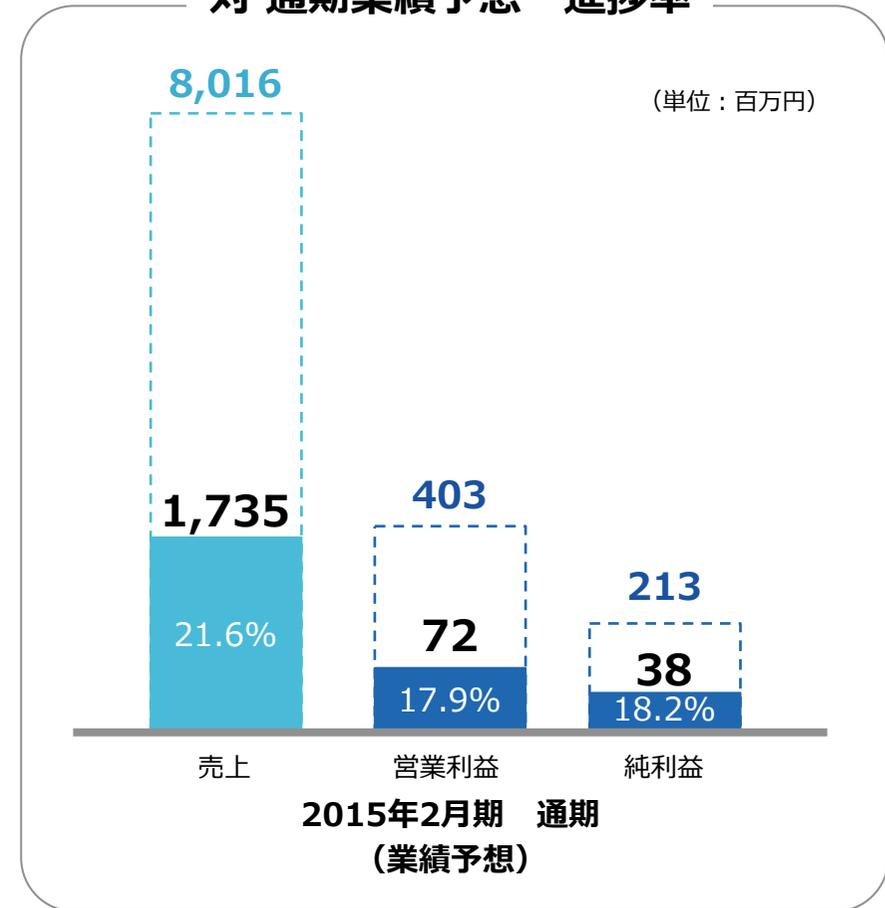
# 2015年2月期の進捗状況

2015年2月期の「通期」「第2四半期累計」の業績予想に対する業績進捗率。

対 第2四半期累計 進捗率



対 通期業績予想 進捗率

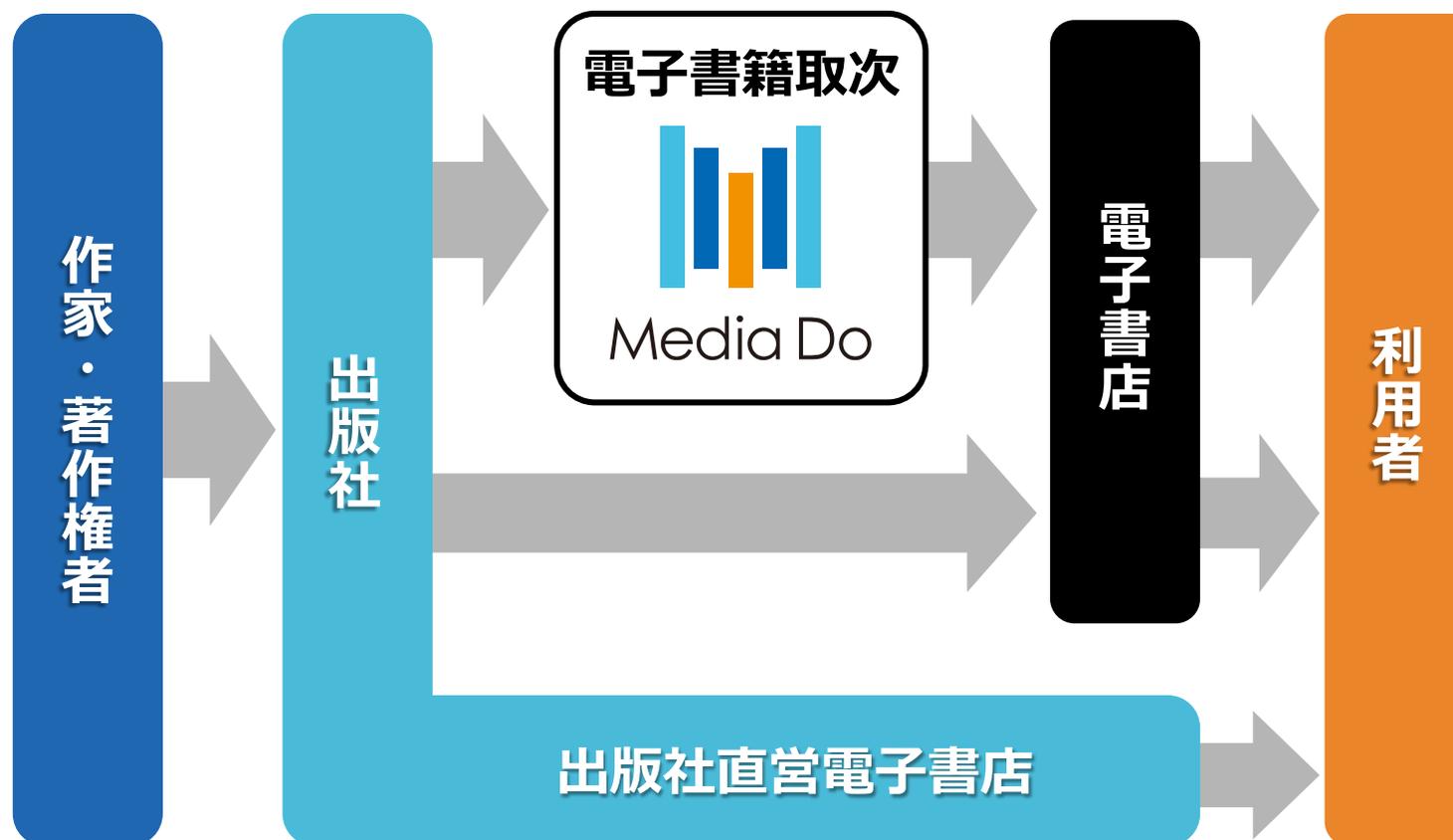


- 1 ビジネスモデル／ミッション
- 2 2015年2月期 第1四半期ハイライト
- 3 2015年2月期 第1四半期レビュー
- 4 **電子書籍事業の進捗状況**
- 5 今後の成長戦略



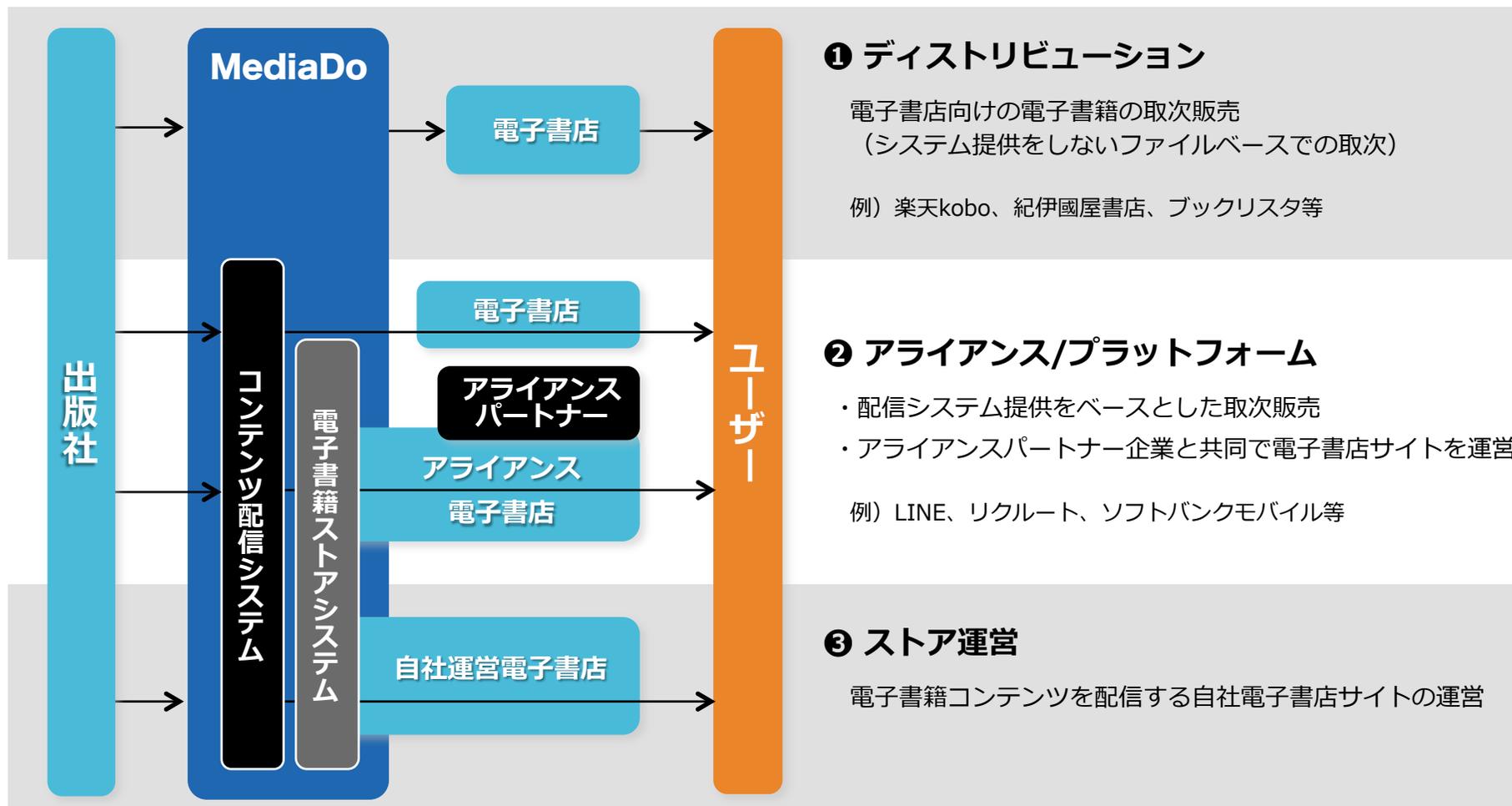
## 当社の事業ポジション

「電子書籍取次」は、ニーズが高まってきた2006年頃にスタート。市場拡大とともに、出版社の煩雑な業務の担い手として定着。その後、取次の利用が主流となり流通シェアは年々上昇。



# サービス形態

当社の電子書籍事業におけるサービス形態については、以下のようになっている。



# サービス形態別売上推移

(単位：百万円)	2014年2月期								2015年2月期	
	1Q		2Q		3Q		4Q		1Q	
<b>電子書籍事業売上</b>	<b>953</b>		<b>1,135</b>		<b>1,202</b>		<b>1,335</b>		<b>1,523</b>	
①ディストリビューション	<b>259</b>	27.2%	<b>302</b>	26.6%	<b>310</b>	25.7%	<b>404</b>	30.3%	<b>443</b>	29.1%
②アライアンス/プラットフォーム	<b>386</b>	40.5%	<b>485</b>	42.7%	<b>531</b>	44.2%	<b>570</b>	42.7%	<b>723</b>	47.5%
③ストア運営	<b>309</b>	32.4%	<b>349</b>	30.7%	<b>362</b>	30.1%	<b>360</b>	27.0%	<b>356</b>	23.4%

※ %は電子書籍事業売上を100とした場合の構成比

## ① ディストリビューション

- ・ キャリア系電子書店、新規取引系電子書店の売上が伸長したが、全体売上に占める比率は低下

## ② アライアンス/プラットフォーム

- ・ LINE、いつでも書店向け等の売上が伸長し、売上構成比が大きく上昇

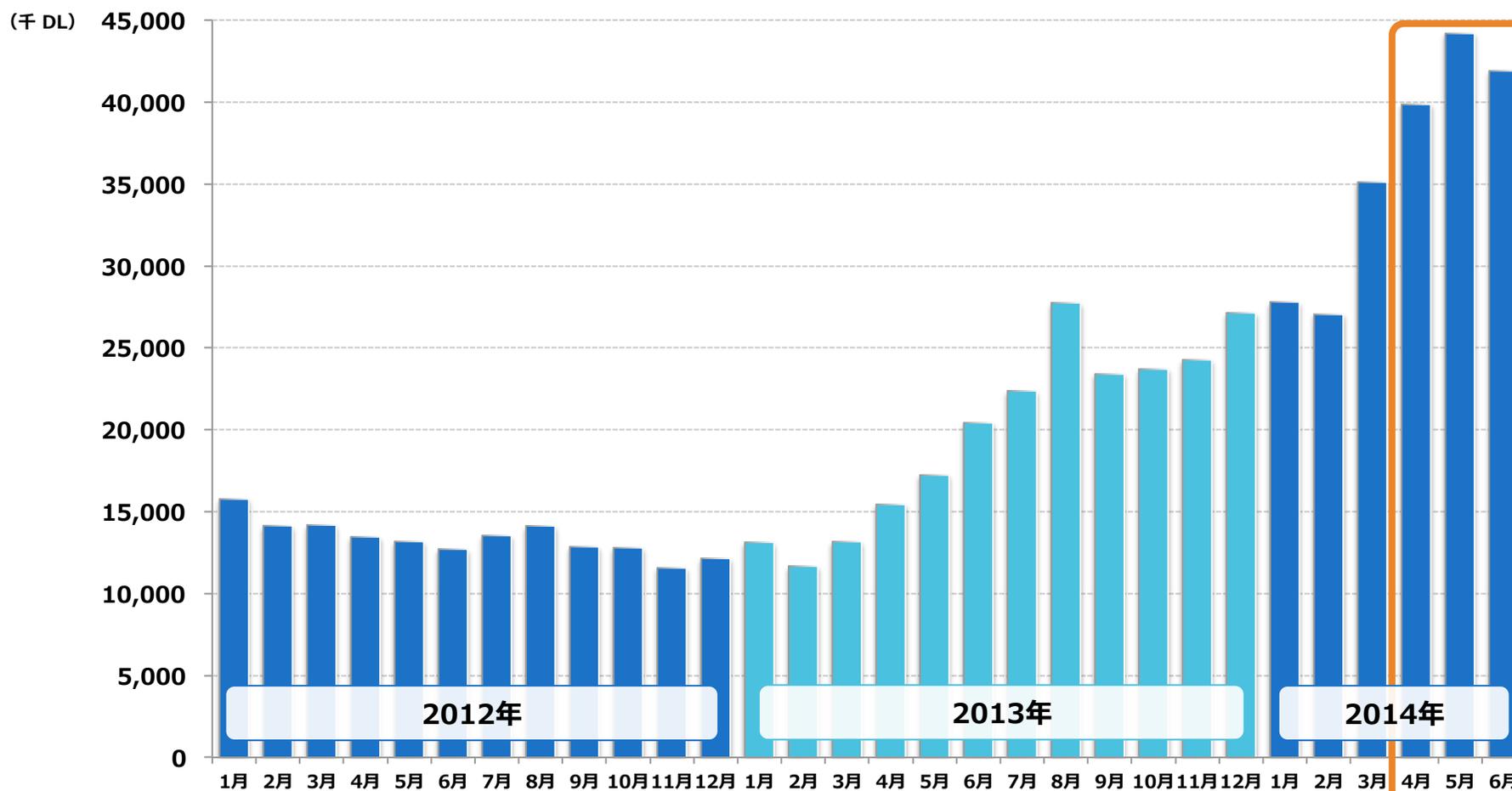
## ③ ストア運営

- ・ 広告投下を絞ったが、売上水準は同レベルを維持



# ダウンロード（DL）数の推移

「md-dc」における、電子書籍コンテンツのダウンロード数推移（サンプルDLも含む）。



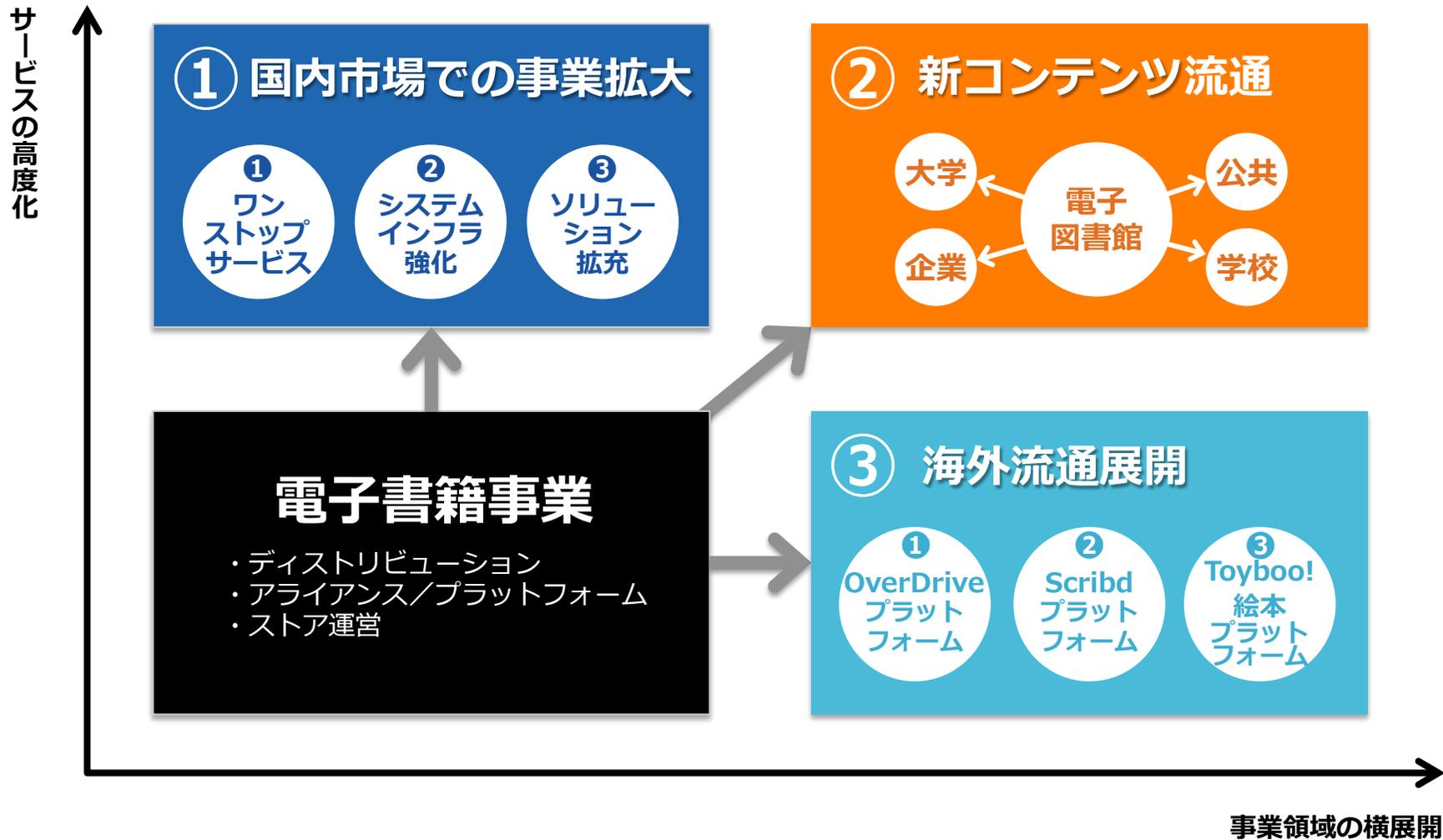
※ 上記数値は当社配信サーバー「md-dc」におけるDL数値で、同一購入コンテンツの複数の端末へのダウンロードや端末から削除後の再ダウンロード数は含みません。



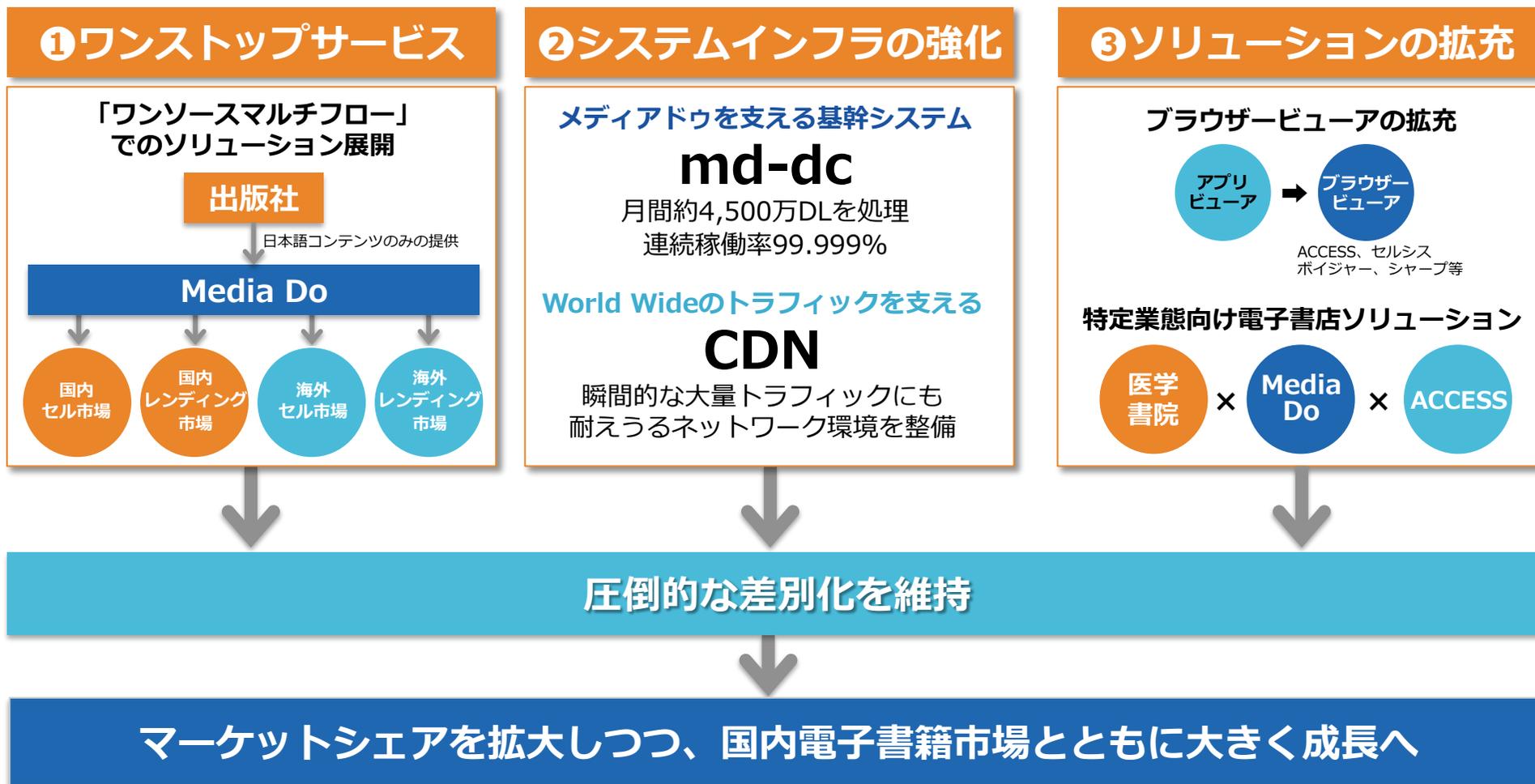
- 1 ビジネスモデル／ミッション
- 2 2015年2月期 第1四半期ハイライト
- 3 2015年2月期 第1四半期レビュー
- 4 電子書籍事業の進捗状況
- 5 **今後の成長戦略**



# 成長戦略の基本方針



# ① 国内市場での事業拡大



## ② 新コンテンツ流通

### 電子図書館

1. 国内電子図書館事業の推進
2. 多言語コンテンツの国内配信
3. 国内コンテンツの海外配信



# OverDrive®

米国の公共図書館の90%が  
OverDrive社のシステムを導入

世界45ヶ国  
**30,000**館  
公共図書館

7,500校  
**350**万人以上  
学生利用

コンテンツ閲覧数  
**43**億PV/月

出版社  
**4,000**以上  
取次コンテンツ  
**200**万以上



### ③ 海外流通展開

#### コンテンツ輸出

# Scribd.

月間利用者数  
**8000万**

本とドキュメント  
の数  
**5500万**

Scribd上に  
ある文字数  
**4200億**

サービス展開国  
**100ヶ国**

急成長する文書共有プラットフォームが手がける  
**有料サブスクリプション型  
電子書籍サービス**

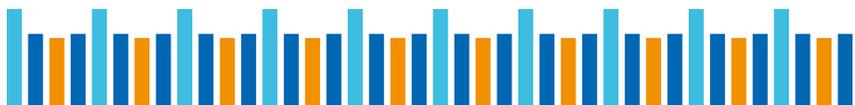
月額 **\$8.99**

ベストセラー  
や新刊も含む

**40万冊が読み放題!**

へのコンテンツ提供

新たな海外市場へのリーチ



#### ボーダレスな絵本プラットフォーム

親子で楽しむ世界の絵本

# Töyböö!

『子供も大人も楽しめる絵本アプリの提供』

世界の優れた  
絵本を国内外  
へ展開

作家の作品  
供給機会の  
創出

バイリンガル  
モードで未知  
のストーリー  
との出会い

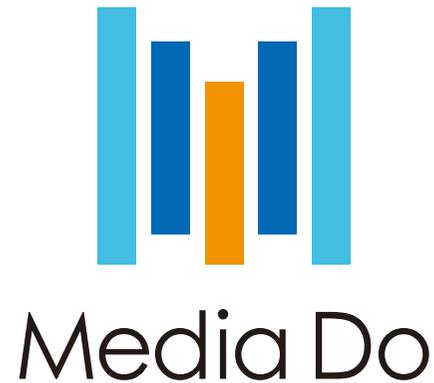
リリース予定  
**2014年秋**



電子絵本だからできる世界の創出へ



# 新ロゴについて



## 企業理念とデザインコンセプト

シンボルの縦ラインは社員一人一人が自立し、考え、クリエイティブし、行動していく姿を表現しています。中央のオレンジラインは自分自身です。両サイドのラインが伸びていく形は、社員一人一人が理念をいつも心に抱き、たくさんの人々に支えられ、共に成長していく姿を表現しています。自立した自己と、支えられているたくさんの人々との成長と無限の可能性を、シンボルマークのデザインに込めています。

## コーポレートカラーコンセプト

**ネイビー**は海のカラー。**ブルー**は空のカラー。全ての生命の誕生は海からと言われていています。叡智の源とも言えます。誕生の場所であり、風に乗って航海し様々なモノやコトを運ぶ海。同じく世界が一つに繋がっている空です。  
コーポレートカラーは**世界中の叡智をメディアドゥが流通・発信する象徴を海と空のブルー**で表現し、**オレンジは叡智を育てる太陽、人の心の中にある好奇心**を表現したカラーです。



# 将来見通しに関する注意事項と会計監査について

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

また、本資料内には会計監査人の監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性を完全に保証するものではありません。従いまして、本資料に全面的に依拠した投資等の判断を行なうことは控えていただけますようお願いいたします。

